

神奈川シニア連合

機関紙

あゆみ

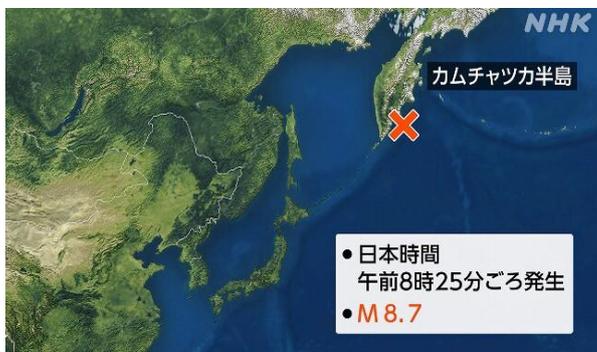
2025年 8月 4日(月) 第111号

■発行 行 神奈川県退職者連合
 ■発行責任者 東谷裕明
 ■連絡先 〒231-0023
 横浜市中区山下町24-1 連合神奈川内

【TEL】045-211-1133 【FAX】045-201-8866 【E-mail】Senior@rengo.or.jp

「津波警報」で電車が運休

第4回幹事会を書面会議に変更



役員への「書面会議」への変更連絡は、事務局の2人が手分けし携帯に電話するときともに、電話連絡できない役員にはメール配信しました。連絡時には、8人の役員の方が家を出発されており、Uターンをお願いしましたが、メール連絡に気づかず会議場所に来られた方が2人ありました。

7月30日(水)開催予定の第9回五役会、2025年度第1回役員選考委員会、第4回幹事会は、8時25分過ぎにロシア・カムチャツカ半島沖で発生したマグニチュード8.7の地震に伴う「津波警報」「津波注意報」により、電車の運転見合わせが長引き会議構成員の参加が困難であると判断し、11時15分に全ての会議を急遽「書面会議」に変更して開催するにいたしました。

第27回参議院議員選挙結果

第27回参議院議員選挙は、7月3日公示・7月20日投開票で行われました。連合神奈川が推薦した神奈川選挙区候補者と比例代表選挙の連合組織内候補者の得票数は、次のとおりです。

神奈川シニア連合の役員、会員皆様のご支援・ご奮闘に心から敬意と感謝を申し上げます。

□神奈川選挙区

○かごしま 彰宏(国民・新) 731,342票 当
 ○牧山 ひろえ(立憲・現3) 731,605票 当

□比例代表選挙(連合組織内候補者)

○平戸 航太(電機連合、国民・新) 92,137票 当
 ○いそざき 哲史(自動車総連、国民・現2) 181,976票 当
 ○田村 まみ(UAゼンセン、国民・現1) 205,331票 当
 ○岸 まきこ(自治労、立憲・現1) 147,648票 当
 ○郡山 りょう(JAM、立憲・新) 94,610票 当
 ○みずおか 俊一(日教組、立憲・現3) 116,142票 当
 ○小沢 まさひと(JP労組、立憲・現1) 99,963票 当
 ○吉川 さおり(情報労連、立憲・現3) 116,314票 当
 ○浜野 よしらみ(電力総連、国民・現2) 193,599票 当
 ○もりや たかし(私鉄総連、立憲・現1) 74,495票 落

「書面会議」への変更の決定が遅れたことお詫び致します。
 第4回幹事会(書面会議)では、(1)「核兵器廃絶1000万署名の取り組み」(2)2025年「医療・介護制度の充実」等に関する要請書の提出。(3)「フードバンク」(4)2025年組織実態調査の実施。(5)ボランティア基金の送金。(6)神奈川シニア連合への役員・幹事の派遣変更届提出などを提起し、8月13日までに役員から質問・意見提起を受け、第5回幹事会(9月10日)において報告・対応するにいたしました。

かながわ」でのボランティアの実施。(4)2025年組織実態調査の実施。(5)ボランティア基金の送金。(6)神奈川シニア連合への役員・幹事の派遣変更届提出などを提起し、8月13日までに役員から質問・意見提起を受け、第5回幹事会(9月10日)において報告・対応するにいたしました。

2025年施設見学

横浜市のごみ処理施設

神奈川シニア連合の役員・会員33人は、6月25日(水) 13時30分
から横浜市金沢区並木町の横浜市資源循環局資源循環型ごみ処理施設
「金沢工場」を見学しました。



見学当日は、台風2号が熱帯低気圧に変わり分厚い雨雲が青空に急変する中、参加予定者33人は、時間どおり金沢シーサイドライン並木中央駅改札口に集合。1時間前の豪雨が一転、酷暑の強い日差しを受け流れる汗を吹きながら15分歩き金沢工場に到着。

最初に研修室で施設概要、業務内容と蒸気タービンによる発電事業のビデオ観賞。工場の担当者から「(1)ごみの量は、2001年から減少傾向にある。(2)家庭ごみは、更に15%分別できる。(3)ごみ全体の30%が家庭ごみであり、内10%が手つかずの食料品である。(4)生ごみの80%は水分であり、臭みが和らぐこと。焼却「スト」を下げるため水分を切って集荷場

に出してほしい。(5)横浜市は、市内4カ所でごみを焼却している。(6)焼却ごみは、1/40の量の灰にして処理場を長持ちさせる努力

をしている」などの補足説明がありました。そして、ロビーに設置されている焼却炉の内部・ろ過式集じん器(パルスジェット式)の模型で公害防止と安全な焼却などの説明を受け施設見学がスタート。

く中央管制室では、1日1200トン焼却する金沢工場は当然のこと、他の3焼却場のごみ搬入状況・焼却炉の燃え具合を24時間5人1組・4班がモニターを見ながら監視、調整、そして、修理の手配を行っている」と説明を受けました。その後、収集車のごみを投入しているコックピットや発電機を窓越しに見学した後、参加者全員集合写真を撮り、2025年施設見学を終了しました。

「フードバンクかながわ」

夏季は食品寄贈が減少

「フードバンクかながわ」通信79号(2025年6月)には『食品が不足する時期となり、食品棚もスカスカです。寄付金を活用し需要の多いインスタントラーメンとカレーを購入手庫が少し埋まった』と記載されています。

米不足と物価高騰は、収まる気配がなく経済的な格差や貧困、孤独、孤立が拡大しています。「フードバンクかながわ」は『もったいない』『分かち合い』『ありがとう』の活動を広げることで地域セーフティネットづくりに貢献したいと頑張っています。

神奈川シニア連合役員は、8月19日(火)・21日(木)・22日(金)の3日間、寄贈された食品の検品・仕分けボランティアを予定しています。ボランティアは、倉庫に十分な在庫が無ければ検品・仕分けは出来ず、困っている人への援助・支援は出来ません。会員の皆様、生もの・酒類を除く賞味期限2カ月以上の食品寄贈にご協力願います。

寄贈食品は、(1)加盟産別の組合事務所、(2)神奈川シニア連合事務局【☎045-211-1133/原】(3)「フードバンクかながわ」にお届け願います。